

地域SECURITY活動を通して

2025年4月

三井物産セキュアディレクション株式会社

地域SECURITY活動の源泉（大きなポイント2つ）

業種別でのセミナーの開催とインフルエンサーの発掘

令和3年度地域SECURITY形成促進の取組（九州①）

①各地域での活動

- 業種ごとの特徴を踏まえたセキュリティ対策やビジネスリスク対応が出来るよう、地域企業からの体験（事例）紹介やサイバー保険など経営者が必要とする情報中心にプログラム構成し、「業種別」に合計6回のセミナーを実施。
- 地域企業への周知は、コミュニティ形成の核となる地域企業自身がインフルエンサーとなり商流を通じて幅広く案内。セキュリティベンダーや保険会社等も含め、延べ計599名が参加。
- 地域SECURITYの核となるセキュリティ関連事業者、地域企業等の発掘、連携強化を推進中。

【※地域企業：創ネット(株)、(株)ミズ、(株)オーイーシーなど】

【セミナー開催実績】

地域	第1回 福岡地域①	第2回 福岡地域②	第3回 大分地域	第4回 佐賀地域	第5回 熊本地域	第6回 宮崎地域
テーマ	製造業	海外ビジネス	宇宙産業	医療・薬局	農業	林業
チラシデザイン						
プログラムの特徴	・中小企業向けセキュリティ対策とサイバー保険 ・中小企業経営者によるサイバー被害事例	・サイバーセキュリティの各国法規制 ・中国子会社を含めたテレワークとセキュリティ運用	・宇宙産業の概観と大分の取り組み ・IoTとセキュリティ	・サイバーセキュリティインシデント対応机上演習の紹介 ・コロナ禍の医療機器メーカー・セキュリティチームの挑戦	・女性農家による講演「地震火事襲来 つより怖い『鬼嫁イノシシ両サイバー』」	・林業サプライチェーンとサイバーセキュリティ ・EOサイトのセキュリティ
参加者数	141名	90名	79名	134名	80名	75名

業種ごとにインフルエンサーが登場し登壇、活動を共にすることが出来た

九州大学リカレント教育 SECKUN特別受講

令和3年度地域SECURITY形成促進の取組（九州②）

①各地域での活動

- 九州大学が取り組む社会人リカレント教育プログラム（SECKUN）との連携で、特別無料視聴参加プログラムを提供。中小企業の経営者やセキュリティ担当者等の人材育成として、実践的教育の機会を提供。
- SECKUN「サイバーセキュリティインシデント対応机上演習」では、事業継続のための組織のあり方を検討するため「医療調剤用TTXシナリオ」を策定。調剤薬局経営者のほか医師・薬剤師も含め地域SECURITYメンバーから計6名が参加。
- 参加した(株)ミズ 溝上代表取締役は「危機への備えが人の命を守ることに繋がると実感した」とコメント。



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

SECKUN
「サイバーセキュリティインシデント対応机上演習」
実施イメージ

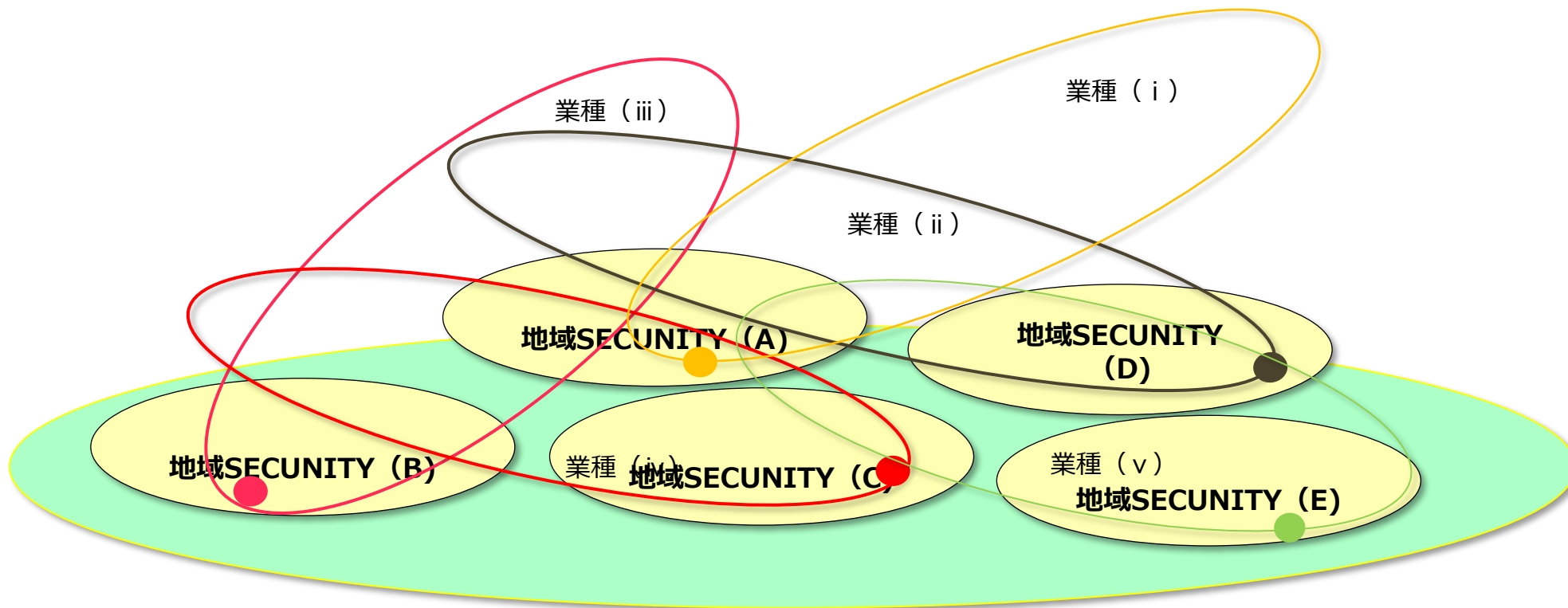
SECKUN「ビジネスイノベーションコース」では、地域SECURITYメンバーから延べ12名が参加。



日程	講師名/コース名	地域SECURITYからの参加者数
10/17 (日)	講師：福田峰之先生 (多摩大学大学院客員教授、元ITC副大臣) 「安全保障経済政策からのサイバーセキュリティ基本法」	5名
10/24 (日)	講師：栗口雅充先生 (株式会社セキュアスカイテクノロジー会長) 「スキュータムを題材としたセキュリティビジネスの戦略」	4名
10/24 (日)	講師：田中先生 (株式会社NTTふらら) 「VRスポーツHADOIにおけるバイラルマーケティングの戦略」	3名

中小企業の方々に受講頂き、気づきを得た

地域・業種とサプライチェーン



地域SECURITY活動の変遷

R2.10～R4.3
4人からスタート

九州における地域
SECURITY



経済産業省事業

R4.4～R7.3
活動の場の提供

F F T Aサイバーセキュリティ研究会
設立と活動

公益社団法人福岡貿易会

R5.10～新たなコミュニティ活動
大分DX推進コミュニティ

R7.4～

R7.3.14
吸収

連携

R5.11～

一般社団法人地域セキュリティ協議会（ASC）
設立と活動

地域SECURITY連絡会
での出会い

普及啓発での出会い

東北に
おける
活動

コミュニティ形成の支援
（あおりサイバーセキュリティ向上委員会）

関東圏での活動検討中



一般社団法人地域セキュリティ協議会

略称ASC（Area Security Council）

URL:<https://areasc.org/>

佐賀を事業所に置き、地域SECURITYの活動をベースとした一般社団法人をR5.11月に 設立

【代表理事】

溝上 泰興（株式会社ミズ/調剤薬局）

【業務執行理事】

關原 優（三井物産セキュアディレクション株式会社）

永野 英世（三井物産セキュアディレクション株式会社）

【常任理事】

小口 幸士（創ネット株式会社）

服部 祐一（株式会社セキュアサイクル）

前田 典彦（株式会社FFRIセキュリティ）

【理事】

大澤 陽子（株式会社佐賀IDC）

織田 良正（社会医療法人 祐愛会織田病院）

【監事】

貞閑 孝也

【顧問】

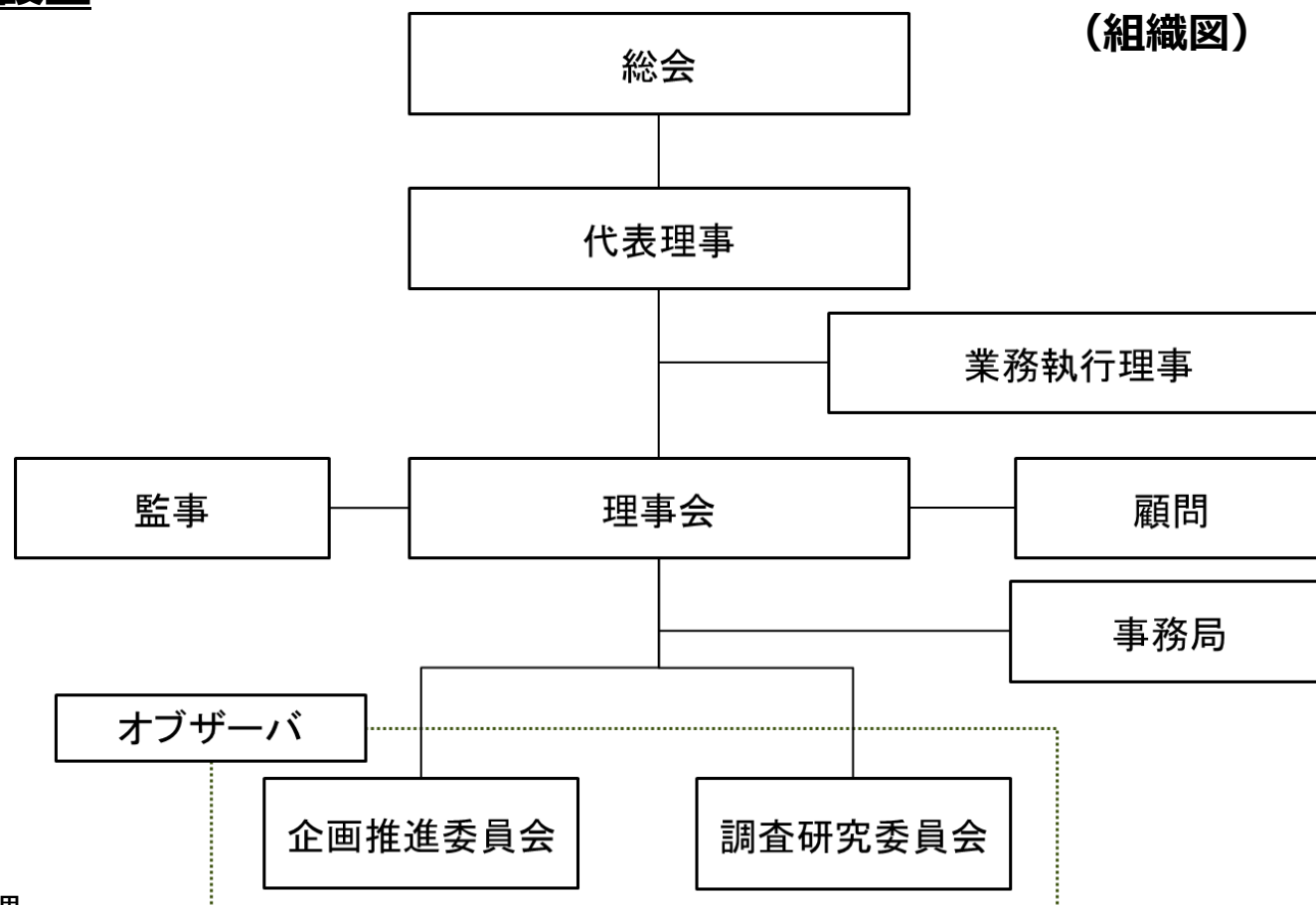
九州大学 情報基盤研究開発センター

情報システムセキュリティ研究部門 小出 洋 教授

【オブザーバ】

福岡県警察サイバー犯罪対策課、佐賀県警察サイバー犯罪対策課

（組織図）



ASC主催の活動：ニーズを元に各組織と共同で企画・開催

セミナー 農業編

一般社団法人地域セキュリティ協議会 主催

地域SECURITY
サイバーセキュリティ
セミナー in 熊本
Cyber Security Seminar

オン/オフライン
ハイブリッドの
セミナーです。
お申し込みには必ず、お申し込みの場で
Zoomが利用可能なご環境下さい。

開催日時 11月20日(水)
2024年 16:00～18:30 ハイブリッド開催 (東海大学熊本キャンパス & Zoom)

16:00～16:05 5分間 開会挨拶
木之内 均 教授(東海大学 熊本キャンパス)

16:05～16:25 20分間 「地域のセキュリティコミュニティのご紹介」
関原 優 氏(三井物産セキュアディレクション株式会社 執行役員)

16:25～16:45 20分間 「稼働(サイバー)セキュリティ 食とネットの安全」
大津 愛梨 氏(OSFarm 共同代表)

16:45～16:50 5分間 休憩

16:50～17:10 20分間 「中小企業向けセキュリティ対策の最適化モデルご紹介」
服部 祐一 氏(株式会社セキュアサイクル 代表取締役)

17:10～17:30 20分間 「【熊 中】」
平原 隆 氏(独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター 専門委員)

17:30～17:50 20分間 「最悪も他人事ではない、サイバー攻撃被害とサプライチェーン」
前田 典彦 氏(株式会社PFRセキュリティ社長兼代表)

17:50～17:55 5分間 休憩

17:55～18:30 35分間 「パネル討論」
(ファシリテーター:関原 優 氏/本セミナー登壇者との討論会)

【主催】独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、東海大学 熊本キャンパス
【協賛】大分県地域IT推進コミュニティ、一般社団法人九州経済連合会、一般社団法人熊本県農林漁業協会の
佐賀県高度情報化推進協議会、特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)、
福岡県IT交流協会、公益社団法人福岡県農会(五十音順)

東海大学熊本キャンパス、
IPAと共催

就農者の登壇
(体験)

医療機関
サイバーBCP演習

社会医療法人 祐愛会 織田病院 様

地域医療BCP
ロールプレイング演習

2024年 12月19日(木)
14:00～16:15 (2時間 15分予定)

会場：社会医療法人 祐愛会 織田病院 会議室

14:00～14:15 10分間 挨拶
社会医療法人 祐愛会 織田病院 副院長 織田良正氏
佐賀県大学医学部臨床教授
一般社団法人地域セキュリティ協議会 理事

14:15～14:25 10分間 特別講義：佐賀県下のサイバー犯罪への取り組み
佐賀県警察本部サイバー犯罪対策課
(1)佐賀県下における情勢 (2)動画デモ

14:25～14:35 10分間 ロールプレイング演習
株式会社セキュアサイクル 代表 服部 祐一氏
(1)ロールプレイング演習(1時間)
(2)佐賀県警察本部サイバー犯罪対策課による事実対応の説明(PPT等)(10分間)

14:35～14:45 10分間 休憩

14:45～14:55 10分間 意見交換
閉会のご挨拶
一般社団法人 地域セキュリティ協議会 代表理事 満上 泰興氏
株式会社ミズ 代表取締役
ネットワーキング/取材

14:55～15:05 10分間

15:05～15:15 10分間

15:15～15:25 10分間

15:25～15:35 10分間

15:35～15:45 10分間

15:45～15:55 10分間

15:55～16:05 10分間

16:05～16:15 10分間

一般社団法人 地域セキュリティ協議会

祐愛会 織田病院様

佐賀県警察本部
サイバー犯罪対策課

医療機関・調剤薬局
サイバーBCP演習

医療機関様、調剤薬局様対象

地域医療
サイバーBCP机上演習

2025年 3月4日(火)
15:00～17:30 (2時間 30分予定)

会場：Microsoft AI & Innovation Center SAGA 内セミナールーム
佐賀県佐賀市駅前中央1-8-31 スクエアビル 5F

15:00～15:05 5分間 挨拶
一般社団法人地域セキュリティ協議会 代表理事 満上 泰興氏

15:05～15:30 25分間 特別講義：佐賀県下のサイバー犯罪への取り組み
佐賀県警察本部サイバー犯罪対策課
(1)佐賀県下における情勢 (2)動画デモ

15:30～15:35 5分間 机上演習
株式会社セキュアサイクル 代表 服部 祐一氏
(1)ロールプレイング演習(1時間)
(2)佐賀県警察本部サイバー犯罪対策課による事実対応の説明(PPT等)(10分間)

15:35～15:40 5分間 休憩

15:40～15:55 15分間 意見交換
調査協力の御依頼 (MGSPセンサー無料活用)
三井物産セキュアディレクション株式会社 照沼 視世氏

15:55～16:05 10分間 閉会のご挨拶
株式会社ミズ 取締役 牧野 公尚氏

16:05～16:15 10分間 ネットワーキング/取材

16:15～16:30 15分間

16:30～16:45 15分間

16:45～16:55 10分間

16:55～17:05 10分間

17:05～17:15 10分間

17:15～17:30 15分間

一般社団法人 地域セキュリティ協議会

佐賀地域 3 組織演習受講/
視聴参加者多数

佐賀県警察本部
サイバー犯罪対策課

公益社団法人福岡貿易会

迷惑メール対策

第44回 福貿ビジネスラボ
～いまや他人ごとではない「迷惑メール」対策の重要性～
令和6年7月29日（月）18:00～19:15

迷惑メールの最近の動向とその対策

株式会社セキュアサイクル
代表取締役 服部 祐一氏

ハイブリッド開催！
参加無料

2017年に福岡にて株式会社セキュアサイクルを立ち上げ、各種脆弱性診断やセキュリティコンサルティングに従事する。OWASP Fukuokaのチャプターリーダーや一般社団法人地域セキュリティ協会会長の職も歴任しており、地域でのサイバーセキュリティの普及啓発にも取り組んでいる。

各地のセキュリティ関連イベントや企業、大学等での講演・トレーニング多数

＜講演概要＞
最近の迷惑メールは、内容が巧妙化してきて本物と見分けづらくなっています。また、迷惑メールから誘導されるウェブサイトも非常に巧妙に作られており、一見ただの迷惑メールと見分けがつかないまま、偽のサイトに誘導されてクレジットカード情報を入力してしまった事例やIDとパスワードを入力してしまっ不正利用されてしまった事例が後を絶ちません。

本講演では、迷惑メールについて、最新の事例とどのように気を付けていけばよいかについてお話いたします。

タイムスケジュール

- 18:00～18:30 講演
- 18:30～18:45 質疑応答
- 18:45～19:15 ネットワークキング

【お申し込み】 福岡貿易会事務局 FAX: 092-452-0700 E-mail: info@fukuoka-fia.jp

【参加方法】
①会場：福岡貿易会 事務局（福岡市中央区七井7F）
②オンライン：Zoom（リンク）
【観覧】7月29日（月）まで！

【お申し込み】 福岡貿易会事務局 FAX: 092-452-0700 E-mail: info@fukuoka-fia.jp

【お申込QRコード】

福岡貿易会会員向け

会内アンケート結果を元に
開催

台湾関連

～特別講演～
「台湾で聞いた、見た」
台湾産業界とサイバーセキュリティ

2024年
11月1日（金）18:00～19:15

講演者：前田 典彦（まえだのりひこ）氏

株式会社FFRセキュリティ 社長兼、また同社のCSIRTのPoC（日本シーサー1協会の加盟）、ニハシジュリストとしてサイバーセキュリティ関連情報の発信や普及啓発活動を行う。UNCTAP及びネットワーカーの機能運用エンジニア業務を10年経験した。セキュリティ業界へ、サイバーセキュリティウェアナーにおいて12.5年間調査研究業務、ニハシジュリスト活動を経て、2019年7月に株式会社FFRセキュリティに入社。日本ネットワーカー協会(JNSA) 幹事、調査研究部会長、地域セキュリティ協議会 常任理事など、社外NPO法人や各種団体でも活動中。早稲田大学政治経済学部卒。

講演概要
アジア太平洋地域最大規模で CISO レベルの参加者が集まる会合「HITCON CISO Summit」。10月23日に台北で開催された招待制イベントにて聴講された内容を踏まえ、台湾でビジネス展開をされている方、これから進出を検討されている方、また、ビジネスにおけるサイバーセキュリティに關心をお持ちの方に向け、ビジネスとサイバーセキュリティについて解説します。

HITCON CISO Summit <https://hitcon.org/2024/CISO/en/>

【お申込先】 以下のURLかQRコードよりお申込みください
https://www.fukuoka-fia.or.jp/pages/572detail=1&b_id=593&r_d=89&date=2024-11-01#block593-89

【お申込QRコード】

【本セミナーに関する問い合わせ先】
公益社団法人福岡貿易会 事務局
TEL: 092-452-0707 <E-mail: info@fukuoka-fia.jp>

【会場】 福岡県 福岡市 博多区博多駅前2-8-1 博多区役所庁舎9階
<https://www.fukuoka-fia.or.jp/>

特別講演

海外ビジネスを中心とした
貿易会会員向けに開催

サイバーセキュリティシンポジウム（第2回）

第2回
九州地域のコミュニティと
サイバーセキュリティ教育シンポジウム

開催日時
2025年 2月5日（水）
10:00～16:00

参加無料

ハイブリッド開催 会場：西新ラザ/オンライン 100名

第一部 福岡地域を中心とした取り組み

10:00～10:30 開会
小出 洋 青森県警察本部 情報セキュリティ課 課長補佐
10:30～10:50 小出 洋 教授「これからのサイバー犯罪とそれに対する対応としての地域コミュニティ」
10:50～11:15 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」
11:15～11:30 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」
11:30～11:45 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」
11:45～12:00 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」

第二部 セキュリティ普及啓発活動

13:00～13:30 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」
13:30～14:00 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」
14:00～14:30 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」
14:30～14:45 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」
14:45～15:00 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」
15:00～15:30 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」
15:30～15:45 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」
15:45～16:00 小出 洋 教授「サイバーセキュリティ教育の重要性」

九州大学サイバーセキュリティセンター主催

福岡県警察本部
サイバー犯罪対策課

福岡地域の経営者

地域の産業特性（製造/海業）

アイビー倶楽部 主催
地域SECURITY
サイバーセキュリティセミナー
In HACHINOHE 2025

2025年 2月13日（木）
14:00～17:00（開場 13:00）
ハイブリッド開催
オンライン:200名、会場:50名

1. 挨拶
アイビー倶楽部 事務局長 松岡 洋司 様
＜第1部＞ 地域コミュニティ活動

2. 講演 調査中
講師：関原 優 氏 三井物産セキュアディレクション株式会社 執行役員
3. 講演 「ビジネスのための情報システムをサイバー攻撃から守るには？」
講師：小出 洋 氏 九州大学 情報基礎研究開発センター 情報システムセキュリティ研究部門 教授
4. 講演 「青森県でのサイバー犯罪の状況と青森県警察本部 サイバー犯罪対策課の活動」
講師：工藤 雄之 氏 青森県警察本部 サイバー犯罪対策課 課長補佐
5. 講演 「青森県において、この1年で見たこと、感じたこと」
講師：川村 寿 氏 株式会社官制システムインフラセキュリティ課 課長
＜第2部＞ 地域産業（漁業、製造業）、IPA活動紹介
6. 講演 「これからの漁業とセキュリティ 海業に必要なセキュリティとは？」
講師：木渡 崇博 氏 一般社団法人あおもりウォーズ
7. 講演 「制御システムセキュリティでなに？ 制御システムにおける脅威とセキュリティ対策のポイント」
講師：齋藤 祐理奈 氏 株式会社トインクス
8. 講演 「情報セキュリティ10大脅威を活用した地域啓発活動と組織内教育例のご紹介」
講師：細川 弘樹 氏 株式会社ソフトアカデミーあおもり 教育部 課長
IPA独立行政法人 情報処理推進機構セキュリティセンター
9. 講演 「「ネムリス」活用」
会場（IPA独立行政法人 情報処理推進機構 あおもりサイバーセキュリティ向上委員会 後援：一般社団法人地域セキュリティ協議会（予定）、大分県地域IT推進コミュニティ（予定）、公益社団法人福岡貿易会（予定）、一般社団法人「あおもりウォーズ」（予定）、IPA市庁（予定）、IPA県庁会議所（予定）

アイビー倶楽部、IPA共催

青森県警察本部
サイバー犯罪対策課

海業の方の登壇

※R7.4月～公益社団法人福岡貿易会内、 F F T Aサイバーセキュリティ研究会の活動を吸収

地域SECURITY活動とお助け隊サービス

地域SECURITY (セキュリティコミュニティ)での活動

- 地域の民間企業、行政機関、教育機関、関係団体等が、セキュリティについて語り合い、「共助」の関係を築くコミュニティ活動を、「地域SECURITY」と命名。
- まずは各地域で地域SECURITYの形成を促進し、将来的には、地域のニーズとシーズのマッチングによる課題解決・付加価値創出の場（コラボレーション・プラットフォーム）へと発展することを目指す。

<地域SECURITYのコンセプト>



経済産業省事業資料より抜粋

経済産業省が進める中小企業向け地域セキュリティコミュニティとして活動を開始



中小企業経営者等との活動、連携、伴走の中でIPAのコンテンツを活用
現状把握結果から、課題への対応策として、お助け隊サービスの導入へ

出典: IPA5分でできる情報セキュリティ自社診断

中小企業自らの取組を支援 課題の理解→対策としての活用・共有

CASE STUDY | MGSP導入事例
佐賀を中心としたセキュリティコミュニティ提携

佐賀地域でのサイバーセキュリティ強化に向けた協力体制へ

令和4年12月、株式会社ミズは更なるサイバーセキュリティ強化を目的に三井物産セキュアディレクション株式会社（以下、MBSD）が提供するMGSP（MBSD Global Security Platform®）サービスの導入を決定いたしました。

株式会社ミズとMBSDは令和2年度より経済産業省の推進する中小企業サイバーセキュリティ対策促進事業（九州地域における地域SECURITY形成促進事業）を通して関係を構築、中小企業へのサイバーセキュリティ普及啓発を目的に各サイバーセキュリティセミナーの開催、経営者としての事例登壇など、積極的に活動を進めて参りました。

MGSP導入決定とともに、今後両社はさらに佐賀地域でのサイバーセキュリティ強化に向けた強固なセキュリティコミュニティ活動体制を構築、地域の皆様への貢献を目的にサイバーセキュリティ強化に向けて活動を共に推進する予定です。

導入会社紹介 株式会社ミズ

株式会社ミズ 明治43年佐賀県有明町に薬局を開業後、昭和39年清上薬局を開局。平成5年に清上薬局を株式会社ミズに改組。創業以来の経営理念を大切に調剤薬局にとどまらず、ドラッグストア、化粧品店、漢方相談薬局、介護福祉事業等を展開している。現在はサイバーセキュリティ対策を地域・医療貢献と捉えて取り組んでいる。

■きっかけは経営幹部向けセキュリティセミナー
令和2年にMBSDが企画・開催した株式会社ミズ役員向けセキュリティセミナーがきっかけとなり、地域に根付いたサイバーセキュリティに関するコミュニティ（以下「地域SECURITY」）に清上氏が自ら参画、積極的に経営の位置から活発な議論や交流を進めてきた。この地域SECURITYの活動の中で大きな気づきがあったという。

■経費から投資へ
清上氏いわく、「地域SECURITYに参加する前までは、サイバーセキュリティは【技術】と【経費】と捉え、情報システム部に任せきりであった。」この考え方は誤り、サイバーセキュリティは経営に直結する大きな課題。【組織】【役員】【技術】の3つの視点でとらえるべき、そして経費ではなく【投資】と気付くことが出来た。」と言う。

また、この気づきを自社のみならず地域への貢献、中小企業経営者の方々へも気付いてもらうべく、経営の傍ら、地域SECURITY活動も精力的に行っている。

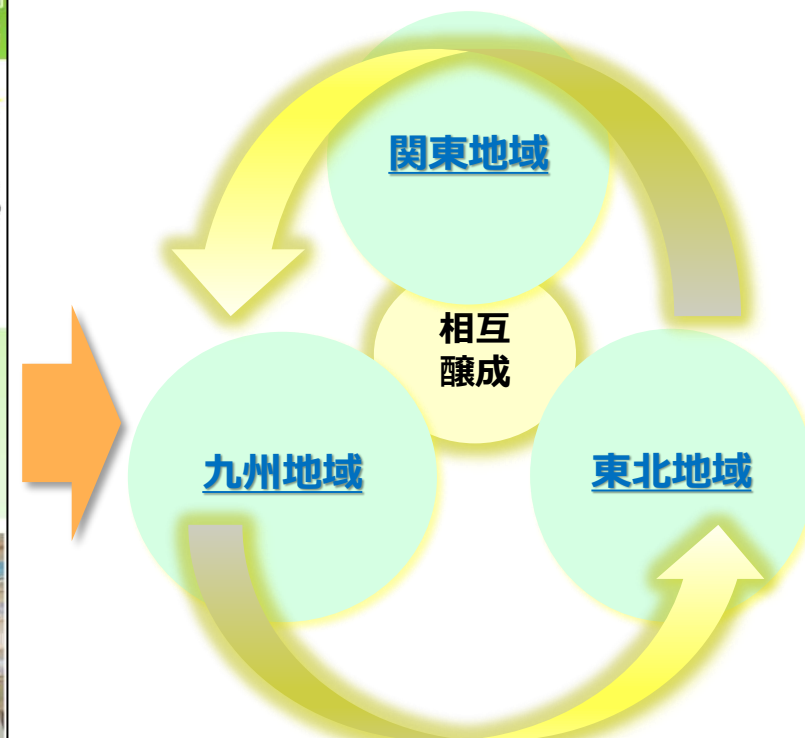
■地域SECURITY活動を通して中小企業の望まれるセキュリティソリューションの開発・提供へ
昨今、ランサムウェアや不正アプリ等による悪質なサイバー攻撃が増加しており、業種や規模を問わず地域の中小企業にとっても適切なサイバーセキュリティ対策を講じることが喫緊の課題。MBSD関係者は、地域SECURITYの活動を通して清上氏との交流を進めていく中で、多くの中小企業の皆様はサイバーセキュリティへの脅威を身近に感じると、専門人材や体制を確保する費用の捻出や時間が取れないのが現実であると痛切に感じたと言う。

このような現実の中で中小企業の皆様が活用しやすいサイバーセキュリティソリューションの提供を目指し、MBSDが自社開発、国産クラウド型出口対策ソリューションとして提供しているMGSPサービスに地域SECURITYの活動を通して得た知見を元にさらに中小企業向けに改修を行った。提供のポイントは3つ、【高機能】【運用】【サイバー保険】、特にセキュリティ製品は導入後に運用に手のかかることが多い課題に焦点を当て、検知時の自動化と運用支援サービス提供と、導入後の負担がほぼゼロ、さらにはサイバー保険を付帯、ワンストップで提供と一切利用者に追加負担がからないサービスを実現させた。さらに、IT補助金が適用できるサイバーセキュリティお助け隊サービス認定を取得、今後も継続して株式会社ミズと共に地域の中小企業の皆様へ更なる貢献を目指していく。

清上 泰典氏と、関原 優氏
(株式会社ミズ 経営層「みずがいえ」にて撮影)

サイバーセキュリティ
お助け隊

地域のコミュニティを 繋ぎ知見の共有・連携



地域を超えて、口コミによる
中小企業経営者の経験談と
お助け隊サービス活用事例等
取組を含めた知見の共有

演習受講後の取り組み（約2年かけて様々な伴走支援を行い開催）

福岡地域 ・ 創ネット株式会社（従業員30名）

マルウェア感染の被害を経験、経営者が演習の重要性に気付く

自社の避難訓練
で行いたい

福岡県警察サイバー犯罪
対策課の支援の元、シナ
リオを作成

Twineを使ったゲーム感
覚での自社訓練を実施

約2年かけて、その地域の方が行いたいものを実現させるべく
伴走支援を実施

佐賀地域 ・ 祐愛会 織田病院（従業員約500名、500床） ・ ミズ薬局（従業員約600名）

佐賀地域は水害が多く、経営者が水害対策と同じ発想での取り組みに気付く

地域医療として
行いたい

祐愛会織田病院様と佐賀
県警サイバー犯罪対策課
とで検討会を開催

祐愛会織田病院様内でサイ
バーBCP机上演習を開催

佐賀医療機関・調剤薬局向
けにサイバーBCP机上演習
を開催（3組織受講）

自分達がメインで取り組みたい

SECKUN受講 （机上演習）

令和3年度地域SECURITY形成促進の取組（九州②）

- 九州大学が取り組む社会人リカレント教育プログラム（SECKUN）との連携で、特別無料視察参加プログラムを提供。中小企業の経営者やセキュリティ担当者等の人材育成として、実践的教育の機会を提供。
- SECKUN「サイバーセキュリティインシデント対応机上演習」では、事業継続のための組織のあり方を検討するため「医療機関用TTXシナリオ」を策定。調剤薬局経営者のほか医師・薬剤師も含め地域SECURITYメンバー計6名が参加。
- 参加した（株）ミズ 調剤代表取締役は「危機への備えが人の命を守ることに繋がると実感した」とコメント。



日程	講師名・コース名	地域SECURITY からの参加者数
10/17 （日）	講師：堀田峰之先生 （名寄大学大学院経済学専攻、名寄大学） 「安全・安心な経営者としての サイバーセキュリティ（基本編）」	5名
10/24 （日）	講師：南口隆光先生 （株式会社ミズ調剤代表取締役、ミズ調剤） 「スキャンダルを避けるための セキュリティインシデント対応」	4名
10/24 （日）	講師：田中先生 （株式会社ミズ調剤代表取締役、ミズ調剤） 「ITシステム・クラウドにおける バックアップ・リカバリ」	3名



教育のアップデート みんなで考えることで情報シス担当者の不安の共有 **SONET**

サイバー避難訓練の実施（2024年12月28日）ロールプレイング&ディスカッション

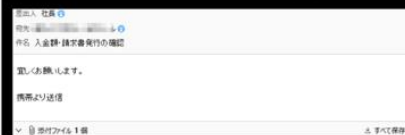
貴方は、客先の担当者です。

大きな案件を受注し客先と色々とやり取りしている最中に、コロナが蔓延してきたので全社員、在宅勤務となりました。

現在、自宅から客先の担当者との案件について、更に頻繁にメールでやり取りを行っています。そんな中、客先が最近メール系のウイルスに感染したと、社内に注意喚起の連絡がありました。その後も頻繁にメールでやり取りを行いつながら案件も終盤に差し掛かったところで、当社社長から

「入金額・請求書発行の確認」

というタイトルのエクセルファイル付きの、簡潔なメールが届きました。

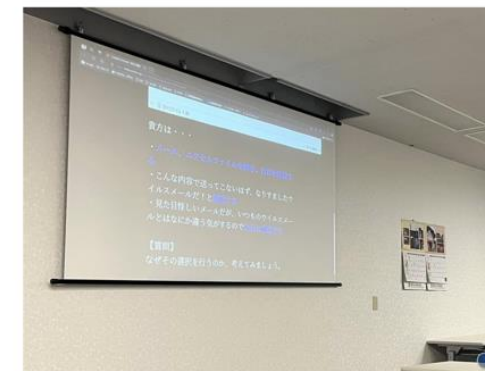


貴方は・・・

- ・メール、エクセルファイルを開き、内容を確認する
- ・こんな内容で送ってこないはず、なりすましたウイルスメールだ！と削除する
- ・見た目怪しいメールだが、いつものウイルスメールとはなにか違う気がするので社長に確認する

【質問】

なぜその選択を行うのか、考えてみましょう。



青文字をクリックすると次へ進む

中小企業の経営者を中心

入口

興味のない人
に参加頂くた
めの努力
(振り向かせ
る)

セミナー/演
習への参加

フォローアップ

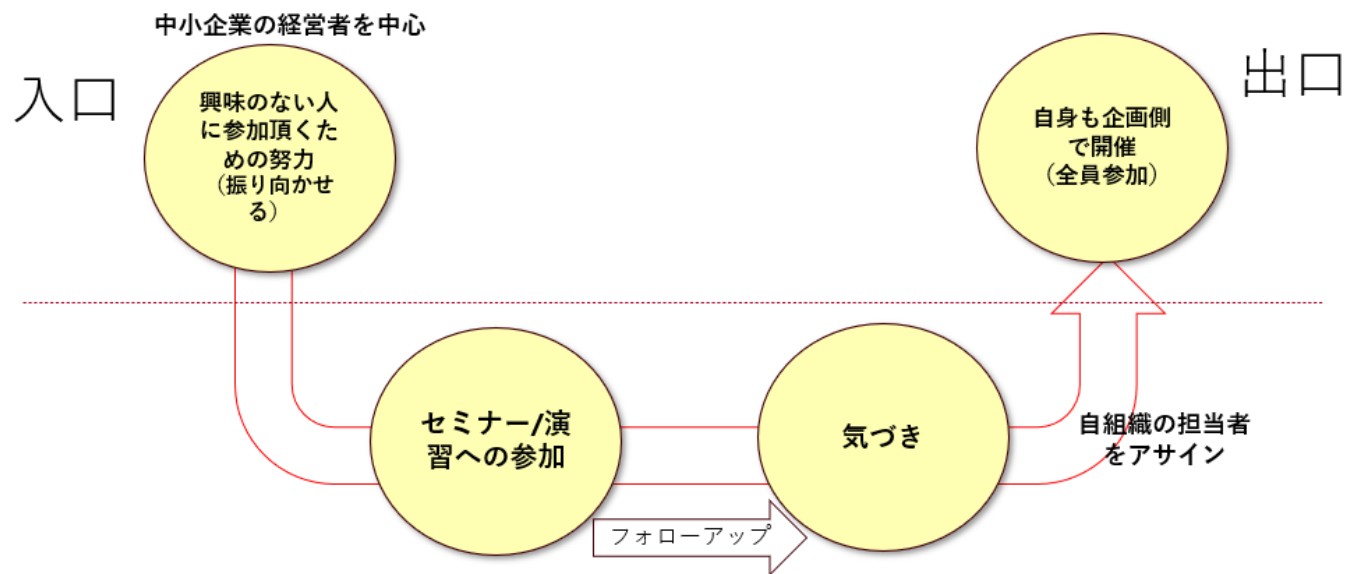
気づき

自組織の担当者
をアサイン

自身も企画側
で開催
(全員参加)

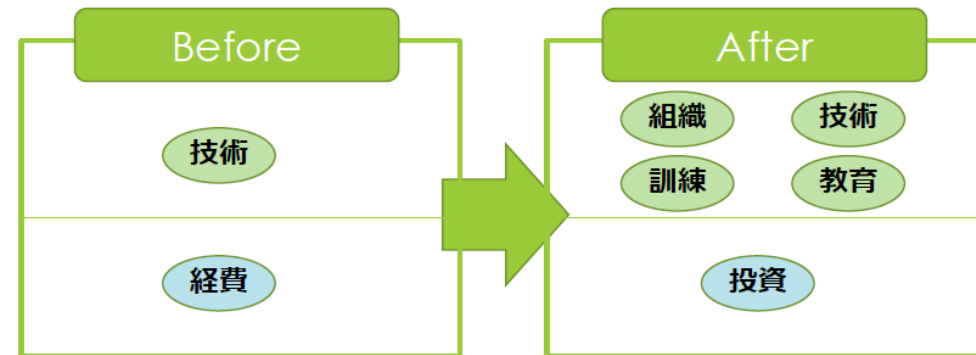
出口

入口から出口までを伴走支援することで仲間を増やし、その地域で普及啓発が広がっていく。



セキュリティ対策とは何か？

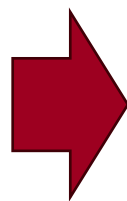
セキュリティ対策≠技術対策



中小企業経営者が作成し、社内に展開

3年前 (Before)

- マルウェア感染被害を自社で把握できてなかった (対策が不十分)
- 県警察への通報や対処が分からなかった
- 社内体制が組まれていなかった



今年 (After)

- セキュリティ対策ソリューション導入済
- 偽サイト確認後30分以内に県警察への通報、並行して経営へ報告、その後の対処も自社内で完結して実施
- 対応後、県警と地域SECURITY関係者へ対処が正しいか確認を自発的に行った

地域SECURITYの活動の中で伴走支援を実施、3年かかるも自立し始めている

主催者（地域SECURITY活動側）の課題

1. 伴走支援のリソース

- ・対象地域で活動できるリソースが限られている
- ・ボランティア精神

2. 費用

- ・開催への費用の捻出
- ・謝金・交通費の他、企画側（事務局）の工数/費用が課題

3. 時間

- ・振り向いてもらい、意識改革、社内浸透に約3年かかる

中小企業の課題

1. 担当者のアサイン

- ・育てると退職してしまう（転職）。
- ・経営者が自組織で信頼できる人物のアサインが必要
- ・担当者は他の業務と兼務、プライオリティが下がりやすい（本人の意識次第となる）

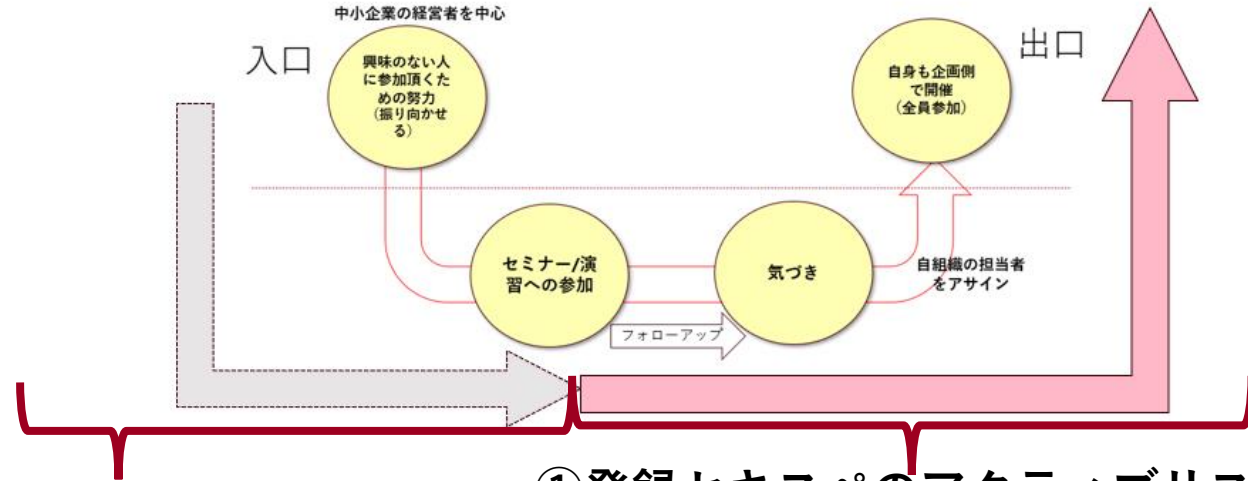
2. 費用

- ・事業の直接的成長性に紐付きづらいセキュリティへの費用（投資）が捻出しづらい

3. 時間

- ・育成する時間を取りづらい

地域SECURITYと登録セキスへの連携（案）



【地域SECURITYでの伴走支援の課題】

- 地域性の知見が必要
- 伴走支援のリソース
- 複数年での継続支援

③地域SECURITY活動

アクティブリストの広報周知支援

協力（案）

- ①と②をセミナーの中で紹介する
- 登録セキスぺの方の登壇の機会を設ける

制度を広く認知いただくための普及啓発を地域SECURITY活動の中でも実施（案）

①登録セキスぺのアクティブリスト・みなし受講制度の活用

効果（仮説）

- 地域SECURITYとアクティブリストに掲載された登録セキスぺをつなげることで、相談先の課題解決と的確な伴走支援を行える。
- 地域に貢献できることで、資格保持の意義をさらに見出すことが出来る。
- みなし受講制度により資格維持につながる

②中堅・中小企業の内部における人材の確保・育成のための実践的方策ガイド

効果（仮説）

- 中小企業と登録セキスぺの方が共に伴走する際のガイドとして有効
- ガイドを用いてその中小企業の「健康診断的活動」に繋がる（長期支援）

- ・ 地域は人と人のつながり、信頼を大切にする傾向が強い（技術を語られても分からない）
- ・ 青森では登録セキスぺの資格を持つIPAプレゼンターの方が1名、普及啓発に参加中

登録セキスぺについて

活用シナリオ①

(利用者) 中小企業支援機関

(利用目的) 中小企業のニーズに合ったセキュリティ対策の実装を支援する登録セキスぺを抽出する

登録セキスぺが中小企業に対して担う役割

社内ITリソースの補完者としての役割、経営者への説得者としての役割、包括的なセキュリティ戦略の立案と実施者の役割、セキュリティ製品導入後の品質担保者としての役割、効果的なIT投資実現のためのパートナーとしての役割

- 既にお抱えのIT事業者やコンサルタントがおられるので、その関係性を考慮すべき。
- 地域のIT事業者やコンサルタントに登録セキスぺ取得奨励などを別途進めることも重要。

地域には様々な“付き合い（関係性）”があるので、中小企業と現在支援をしているIT事業者をセットで進められることが望ましい。（中小企業とIT事業者/コンサルタントで1組織と見ることも必要（案））

- 地域のIT事業者の信頼はとても厚い。IT事業者から登録セキスぺを生み出す取り組みも必要と思われる

活用シナリオ②

(利用者) ITベンダー

(利用目的) 顧客の中小企業へセキュリティ商材を導入をサポートする登録セキスぺを選定する

登録セキスぺが中小企業に対して担う役割

中小企業の立場からのITベンダーからの提案に対する目利き役としての役割、ITベンダーと経営との橋渡し役としての役割、導入後のサポート等を通じた品質の保証者としての役割、効果的なIT投資実現のためのパートナーとしての役割

登録セキスぺがITベンダーに対して担う役割

知識・経験の共有者としての役割、経営者との橋渡し役としての役割、品質管理・監督者としての役割

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_keiei/cyber_human/pdf/005_05_00.pdf

実践的方策ガイドに関する議論について

第4回検討会事務局資料※ P8より抜粋

中堅・中小企業等の内部でセキュリティ対策を推進する者の確保

- ・ **実践的方策ガイド**（想定読者として経営層、セキュリティ人材本人、中堅・中小企業を支援する立場の人材を置き、実施すべきセキュリティ対策に応じて人材の確保・育成策についても合わせて提示するとともに、自社のセキュリティ対策における現在の立ち位置、目指すべき姿の参考となる事例等を提示したガイド）の**全体像に賛同**。
- ・ 実践的方策ガイドにおいて参照しているSECURITY ACTION、中小企業の情報セキュリティ対策ガイドラインの改訂が必要ではないか。実践的方策ガイドと経営ガイドラインとその付属文書との関係性、現在検討中のサプライチェーン対策評価制度との関係性を含めた**体系的な整理が必要**ではないか。
- ・ 実践的方策ガイドの内容として、読者が自分事として捉えられる**事例の提示**が有効。
- ・ 実践的方策ガイドの**普及方法**として、実践的方策ガイド文書にとどまらず、**セミナー**等での展開や**映像コンテンツ**を活用できないか。
- ・ 来年度の**実証**について、**セキュリティ専門家等が伴走支援**をしながらの実践的方策ガイドの**有効性確認**や**事例の収集**を実施することに**賛同**。
- ・ 実証に併せて、実践的方策ガイドを中堅・中小企業に**普及させるために有効な方法等**の調査を実施することに**賛同**。
- ・ **事例の収集**については、大企業であれば当たり前に実施するような**平易な対策の実施事例**、**人材不足によってインシデント対応が遅れた事例**などが有効ではないか。

①既存ガイドラインとの整理

既に企業ではガイドラインをお使いになられているため、混乱しないように新たなガイドではなく体系整理が必要と思います。

②事例効果

事例はとても効果があります。

ただし、大企業の事例となると、他人事に聞こえてしまうので、例えば、**中小企業/産業別の事例**がより効果があると思います。

③中小企業内の普及事例（大分県）

各種ガイドラインについては、自身の業務に関係の無い社員はほぼ読もうとしないので、解決策として、IPAの動画を就業中に視聴可能の許可を経営層に取り付けて実施しているとのこと。読ませるよりも視聴のほうがある程度の理解は出来てくるとのこと

※第4回検討会事務局資料： https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_keiei/cyber_human/pdf/004_03_00.pdf

参考) 実践的方策ガイドについて (事例)

【中小企業の情報セキュリティ対策ガイドラインの付録3：5分でできる！情報セキュリティ自社診断】を活用した実績がある。点数付けされるので、経営層へbefore/ After (対策実施の効果) を理解してもらいやすい。

中小企業・小規模事業者の皆様へ

新 5分でできる！
情報セキュリティ自社診断

最新動向への対応、できますか？

脅威や攻撃の変化

- 標的型攻撃
- ランサムウェア
- パスワードリスト攻撃
- ビジネスメール詐欺

IT環境の変化

- クラウド
- IoT機器
- スマートフォン
- テレワーク

取り返しのつかないことになる前に
あなたの会社のセキュリティ状況を
「5分でできる！自社診断」でチェック！

診断編

診断内容	スコア			
	実施している	一部実施している	実施していない	不明
OSやソフトウェアは常に最新の状態に保っていますか？	4	2	0	-1
ウイルス対策ソフトを導入し、ウイルス定義の更新を行っていますか？	4	2	0	-1
「長く」「複雑な」パスワードを設定していますか？	4	2	0	-1
適切なアクセス制限を行っていますか？	4	2	0	-1
の出口を知り対策を社内共有する仕組みはできていますか？	4	2	0	-1
ファイルや本文中のURLリンクを介したウイルス感染はありますか？	4	2	0	-1
の宛先の送信ミスを防ぐ取り組みを実施していますか？	4	2	0	-1
メール本文を書くのではなく、添付するファイルに書いて送信していますか？	4	2	0	-1
に使うために適切な暗号化方式を設定するなどの対策は実施していますか？	4	2	0	-1
したウイルス感染やSNSへの書き込みなどのトラブルはありますか？	4	2	0	-1
のウイルス感染、故障や誤操作による重要情報の消滅は発生していますか？	4	2	0	-1
るため、重要情報が記載された書類や電子媒体は適切に安全に保管していますか？	4	2	0	-1
れた書類や電子媒体を持ち出す時は、盗難や紛失のリスクを低減していますか？	4	2	0	-1
無断の覗き見や勝手な操作ができないようにしていますか？	4	2	0	-1
所への立ち入りを制限していますか？	4	2	0	-1
パソコンや機器を物理保管するなど盗難防止対策は実施していますか？	4	2	0	-1
多額の賠償恐れ対策を実施していますか？	4	2	0	-1
重要情報が記載された書類や重要なデータが保存された媒体を破壊する時は、復元できるようにしていますか？	4	2	0	-1
従業員に守秘義務を理解してもらい、業務上知り得た情報を外部に漏らさないなどのルールを定めていますか？	4	2	0	-1
従業員にセキュリティに関する教育や注意喚起を行っていますか？	4	2	0	-1
個人所有の情報機器を業務で利用する場合のセキュリティ対策を明確にしていますか？	4	2	0	-1
重要情報の授受を行う取引先との契約書には、秘密保持条項を規定していますか？	4	2	0	-1
クラウドサービスやウェブサイトの活用等で利用する外部サービスは、安全・信頼性を評価して選定していますか？	4	2	0	-1
セキュリティ事故が発生した場合に備え、緊急時の体制整備や対応手順を作成するなど準備はしていますか？	4	2	0	-1
情報セキュリティ対策(上記1～24など)をルール化し、従業員に明示していますか？	4	2	0	-1

Part 3 経営層への報告

診断の後には次ページ以降を読んで対策を検討してください。

自己診断を活用した伴走支援 (約1年)

①現状分析

- 点数が低いのは分かっているのでやりたがらない
- 読み解きを間違えるケースが多い (良い方向に倒す)
- 出来れば経営層も入って頂き現状の点数を知っていたくことで次のStepへ進めやすい

②対策実施

- 費用掛からず簡単にできる項目から着手し点数を上げる
- 正しい対策の実施を行うように推し進める (セキュリティを知らないIT事業者の提案等への対応)

③効果の確認

- 自社診断結果を数値化する
- 効果が目に見えるので担当者の自信・やる気にもつながる

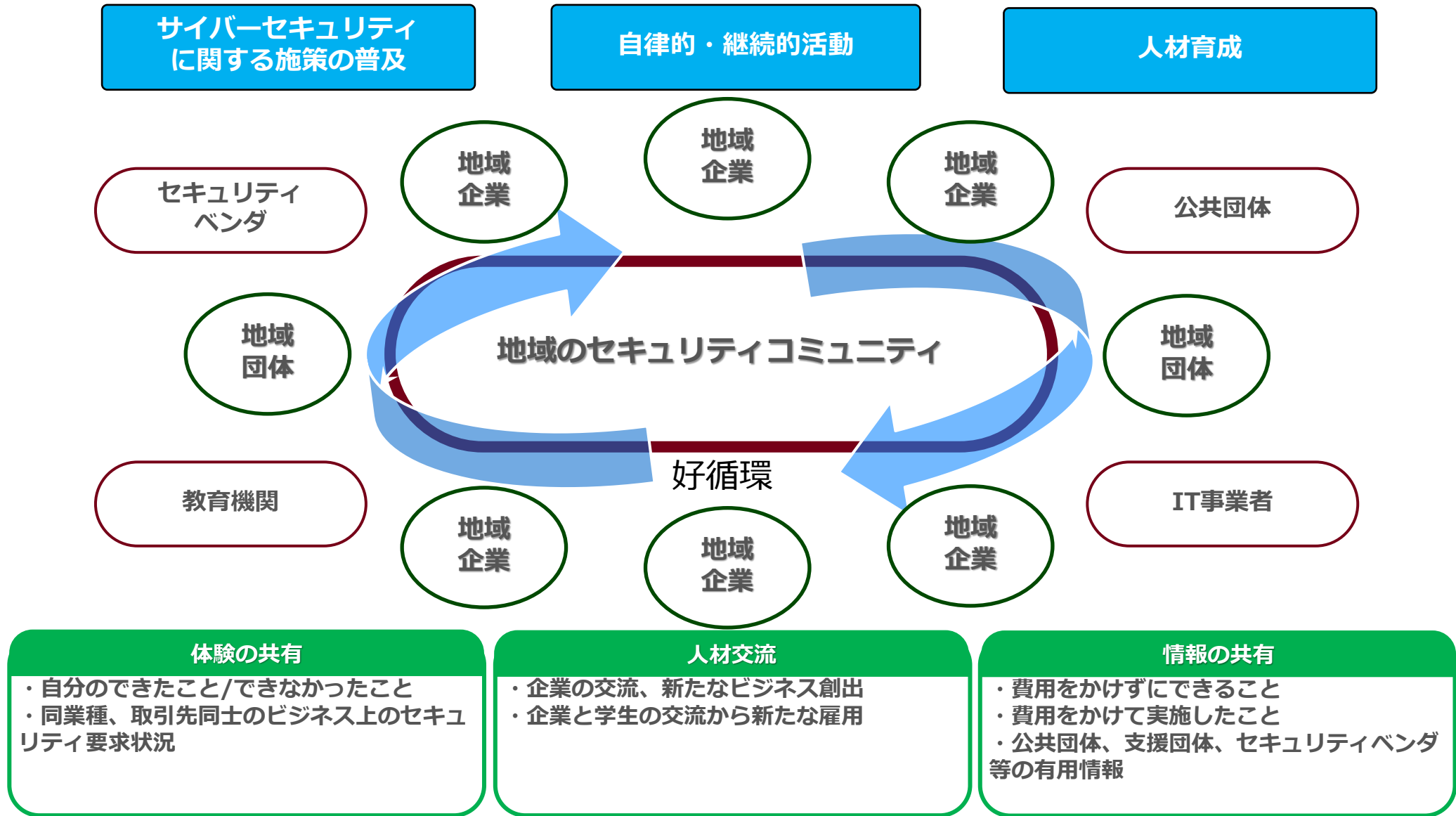
④経営層へ報告

- セキュリティのを難しいと考える (分からない) 経営層にも数値でせつめいすることにより効果を説明できる。
- 経営層も投資しやすくなる

実践的方策ガイドについても数値化できる診断キットがあると以下が見込まれます (仮説)

- 各登録セキスぺごとの“ズレ”がさらに無くなる (明確な項目と点数)
- 中小企業内で自立しやすい (目標設定を立てやすい)
- 効果を集計することで地域ごとの実績や次の施策検討に繋げることができる

コミュニティ形成のイメージ



M | B | S | D[®]

**Know your enemy.
Defense leadership.[®]**

三井物産セキュアディレクション株式会社

〒100-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-14-8
JP水天宮前ビル 6階